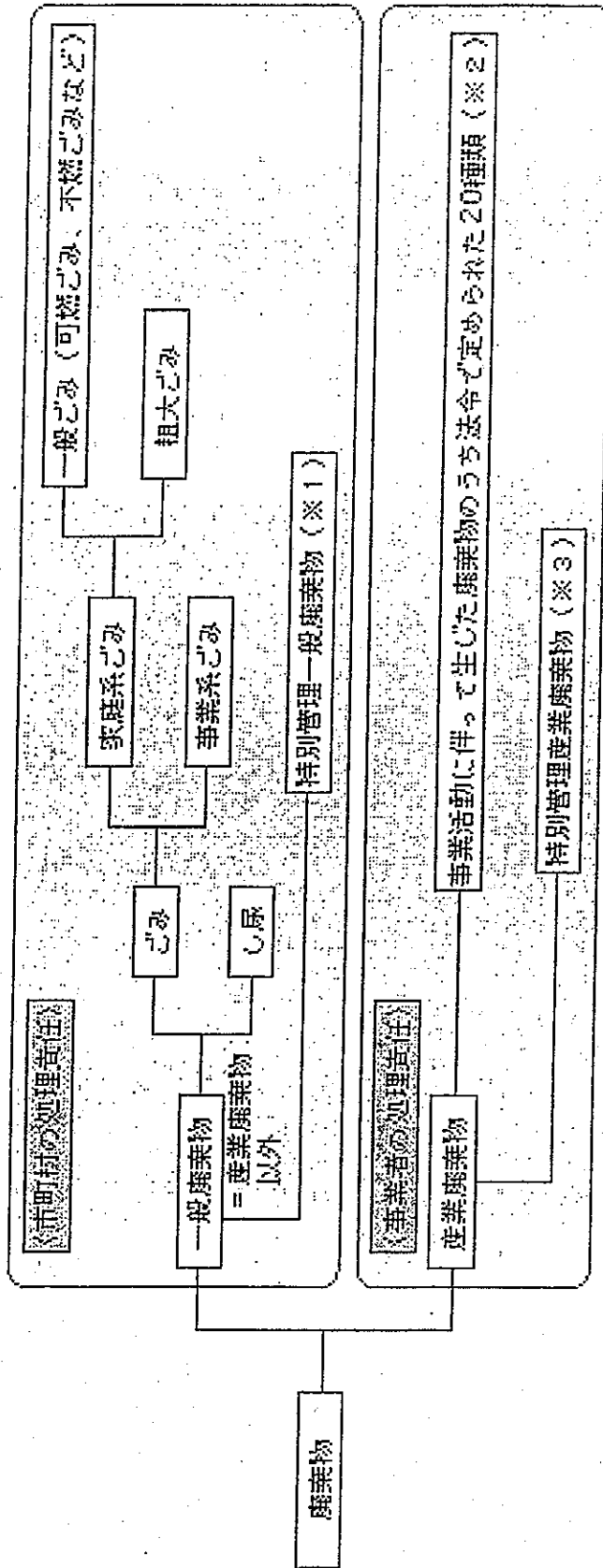


産業廃棄物の処理の流れなどについて

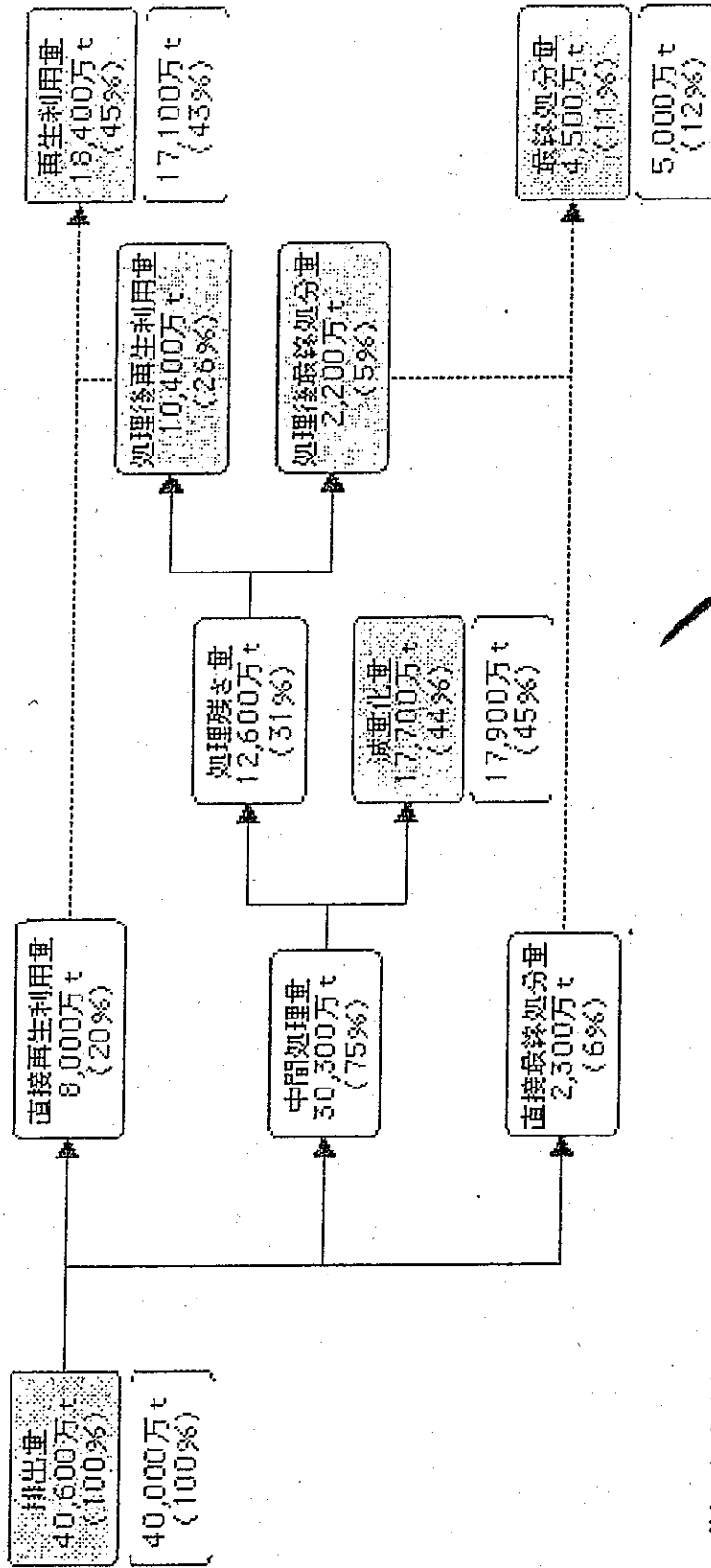
産業廃棄物対策グループ

1-1-4 図 廃棄物の区分



- (※1) 爆発性、毒性、感染性その他の人の健康又は生活環境に係る被害を生ずるおそれがあるもの
 - (※2) 燃えがら、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系系固形不要物、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、プラスチックくず及び陶磁器くず、紐さい、がねきり、動物のふん尿、動物の死体、ばいじん、上記19種類の産業廃棄物を処分するために処理したもの
 - (※3) 爆発性、毒性、感染性その他の人の健康又は生活環境に係る被害を生ずるおそれがあるもの
- (資料) 環境省

1-1-9 図 産業廃棄物の処理の流れ (平成12年度)



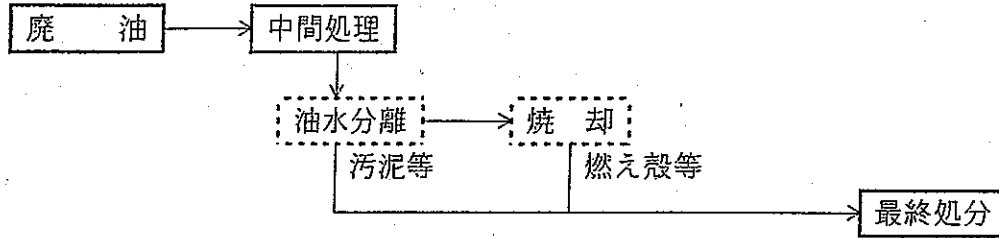
(注1) 各項目の数値は、四捨五入してあるため合計値が一致しない場合がある
 (注2) []内は、平成11年度の数値を示す。

(資料) 環境省

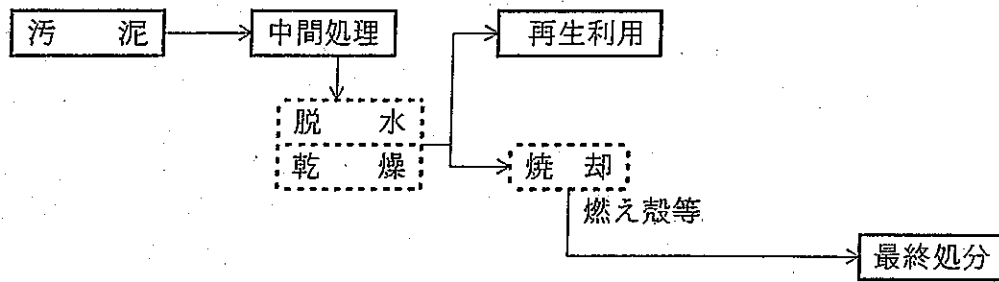
産業廃棄物の処理フロー（代表例）

産業廃棄物対策グループ

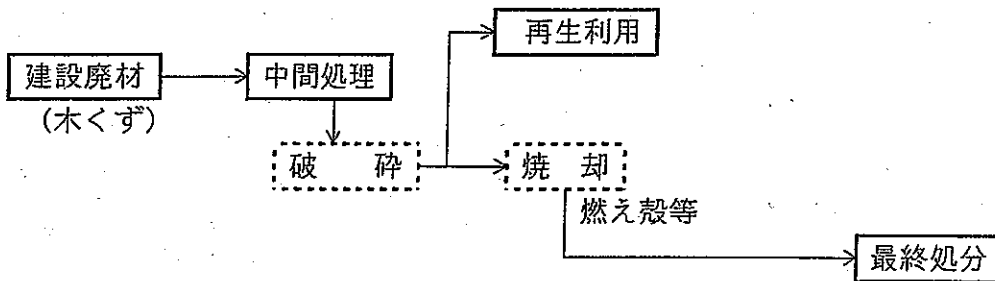
○廃油



○汚泥

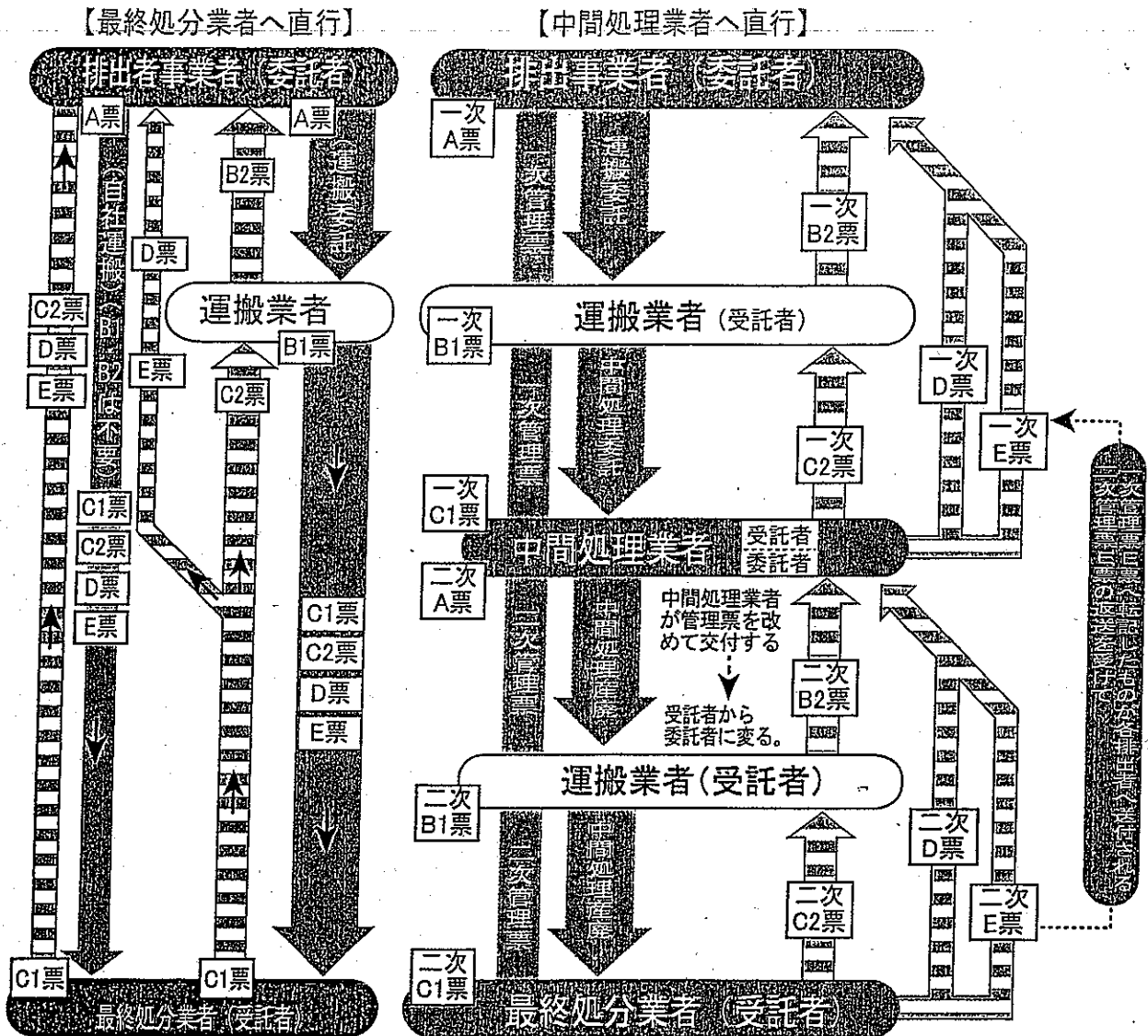


○建設廃材（木くず）



(注) [] : 具体的な中間処理

12 一次と二次の管理票 = 直行用管理票の場合 =



管理票を交付する場合、収集運搬業者が積替え保管して運搬するケースや再委託して運搬する事例もある。

再委託については再委託基準に従って行うことは当然であるが、不明な点は最寄りの行政機関の指導を受けてください。

又、独自の管理票を作成している諸団体のものについてはそれに附記してある記入要領等を熟読のうえ法令に適合していることを確認して使用して下さい。(法第12条の3)

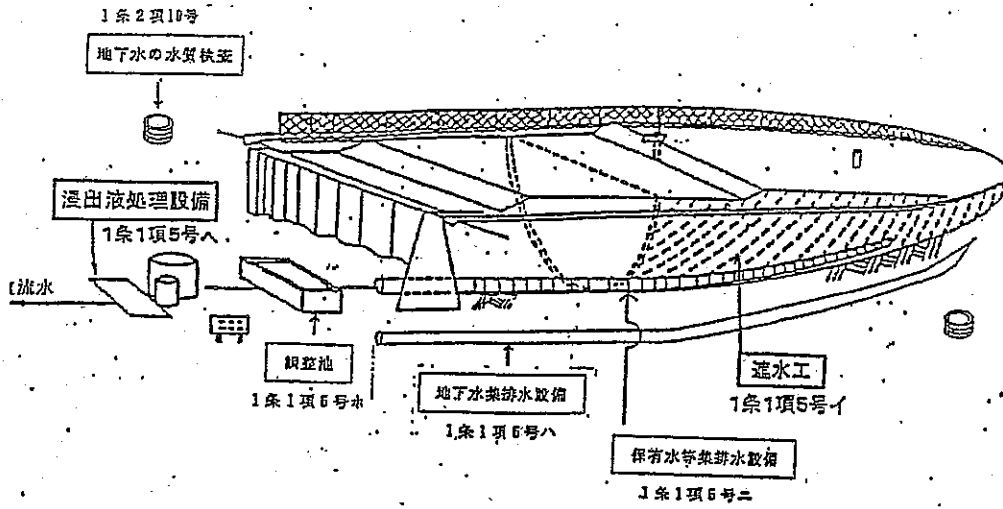
13 施行日

平成13年4月1日から施行 (平成12年6月改正)

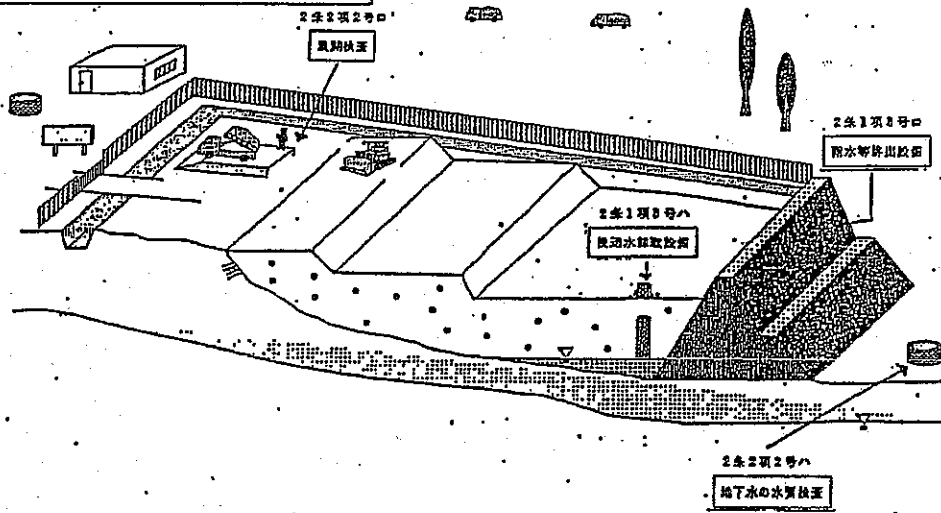
“中間処理 受託と委託の 二面相”

例：(木くずを焼却するときは受託者であり、その燃えがら (中間処理産廃) を処分委託するときは委託者になる。)

一般廃棄物及び産業廃棄物管理型最終処分場



産業廃棄物安定型最終処分場



産業廃棄物遮断型処分場

